

記録的な降雪に見舞われ、まだ路肩に雪が残る札幌にも、暖かな日差しが降り注ぎ、春の訪れが感じられるようになりました。

本日、市立札幌啓北商業高校に晴れて入学した新入生の皆さん。皆さんの入学を、教職員一同心より歓迎します。

また、今日という日を待ち望んでいた保護者の皆様、お子さまのご入学誠におめでとうございます。啓北商業高校を代表してお祝い申し上げます。

さて、皆さんもご存じのように、2020年より感染が確認され、今もなお世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は一変しました。

いまも記憶に新しい、3か月にも及ぶ全国一斉休校の時は、大変辛い思いをされたことと思います。今まで、当たり前前にできていたことができない辛さ、いつまで続くのか分からない不安に思い悩む日もあったと思います。

それでも、マスク、手洗い、消毒、換気などあらゆる感染症対策を取りながら、皆さんは学び続けてきました。よく頑張りましたね。その頑張りの結果、今日という日を迎えています。本当におめでとう。

皆さんは、進学先として本校を選んでくれました。今日から、啓北商業高校生としての生活が始まります。沢山のひとと出会い、多様な知識と経験を身に付けてください。

本校は商業高校です。3年間を通じて簿記や財務会計、ビジネス基礎といった商業科目の勉強を行うのはもちろん、普通高校と同じように国語や数学などの一般科目の勉強を行います。

啓北商業高校のスクールミッションは「札幌の未来を啓く人」を育成することです。

「札幌の未来を拓く人」とは、商業高校での「学び」を通して、マネジメント能力を身に付け、多様な社会の中で自ら新たな価値を創造できる人。学校と地域で作る学びに主体的・積極的に取り組み、課題を探究しながら、仲間と共に歩み成長できる人。札幌の地域資源を活用し、持続可能な地域・社会の発展にビジネスの視点から貢献できる人です。

どうか、卒業までの3年間で「札幌の未来を啓く力」を身に付けてください。

本校の校歌の歌詞に「わが象徴のマーキュリー」というフレーズがあります。

マーキュリーはローマ神話における商業の神様であり、ギリシャ神話ではヘルメスとも呼ばれています。マーキュリーの足には羽の生えた靴があり、鳥よりも早く飛び回ることができたと言われ、マーキュリーは旅の神でもあります。

啓北商業高校の校章の中央には、知恵を表すヘビが巻き付いたマーキュリーが持つ杖があしらわれています。

古来、旅人は商人でした。移動した先で情報や物を仕入れ、別の場所が必要とする人に渡し、対価を得たことが商売の始まりとなりました。ゆえに、マーキュリーは本校生徒の象徴となっています。

現在、紙や金属、電子情報が使われている通貨という概念は、人類が発明した中で最も素晴らしいものだと言われています。狩猟から農耕へと生産の形を変え、コミュニティーを形成し、社会と文明を発展させてきた人類も、通貨ができる前は物々交換で欲しいものを手に入れていました。

重く、日持ちがしない品物に代わって、軽く価値が安定した通貨ができたことで、生活が豊かになり、流通と経済が発展しました。

商業高校で経済について学ぶことは、社会と文明の仕組みを理解することにつながります。

「世の全てのこと」に「なぜと問い」、「自らが進む道」を探究し、「なんのために」「どのようにして生きるのか」を啓北商業高校の3年間で見つけてください。それが「まことの道」となります。

皆さんが啓北商業高校の学びを通じて、マーキュリーのように翼を身に付け、夢を追って未来の空を飛び回ることを願っています。

令和4年4月8日

市立札幌啓北商業高等学校 校長 堀野智宏